

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	公園課長	田沼 滋哉	
都整-38	実施事業	公園運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	公園課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	みどり課
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	都市公園等の整備・管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公園緑地等の適切な整備を図るため。
効果	公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<p>・散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	168	168	168	当初予算(千円)	168		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	168	168	168	一般財源	168		
	人員配置数	0.5	0.3	0.3	人員配置数	0.3		
事業経費運営	人件費(千円)	3,893	2,338	2,367	人件費(千円)	2,367		
	総事業費(千円)	4,061	2,506	2,535	総事業費(千円)	2,535		
	市民1人当りの経費(円)	23	14	14	市民1人当りの経費(円)	14		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	情報交換はもとより、専門知識を学ぶ良好な機会となる各協議会等主催の研修会等への参加については、予算的に多くの職員が参加することが困難な状況である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	公園緑地の整備・管理運営については、常に国・県等の動向を把握しておかなければならないことから、本事業はこれら動向調査に欠かすことのできない事業であるため、今後も現状どおり加盟を継続していくが、各協議会等へは負担金や研修会参加費用の減額について要望していきたい。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	情報交換はもとより、専門知識を学ぶ良好な機会となる各協議会等主催の研修会等への参加については、予算的に多くの職員が参加することが困難な状況である。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	各協議会等が主催する研修会等に、多くの職員が参加することが困難な状況であったため、補完的に研修等に参加した職員からの報告を受けたり、職場内で研修を実施し、職員の知識の向上を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	多くの職員が、より多くの研修会等に参加できるための職場環境を整備していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								